



大空への憧れ

校長 尾崎 淳一

先日、約20年ぶりに『中部国際空港セントレア』に行きました。私は、これまでに2度しか日本から抜け出したことはありません。1度目は新婚旅行の「エジプト&ギリシャ」、2度目が当時勤めていた学校の職員研修旅行で「韓国」に行きました。

2006年、岡崎にある特別支援学校に赴任した1年目の冬、韓国への職員旅行が決まった際に、「これから毎年、海外へ行けるな!」と勝手に考えた私は、何と10年用のパスポートを申請しました。空港で何かと怪しまれないように、パスポートの写真は若々しく爽やかな笑顔で、100点満点の素敵な出来栄となりました。ところが、翌年は「淡路島」、その翌年は「佐渡島」への職員研修旅行となり、確かに海は渡りましたが、自慢の爽やかな笑顔付きパスポートは不要でした。それ以後、目的地が海外となることは二度となく、私のパスポートは2016年に引き出しの奥で寿命を終えました。残念です。

さて、2006年以來の『中部国際空港セントレア』は、とても新鮮でした。これまでゆっくりと見たことはなかったのですが、名古屋めしなどの飲食店はたくさんあるし、飛行機や空港関連の土産物ショップは充実しているし、豊富な品ぞろえの「和」の小物の店もあるし、さすが国際空港だと感心しました。飛行機出発時刻の2時間ほど前に空港に到着しましたが、暇を持て余すことはありませんでした。飛行機の発着が間近に見られる、「スカイデッキ」にも行ってみました。なぜ、あんな鉄の塊が空を飛べるのか、人間の発明の偉大さに感心するとともに、発着する飛行機を見て、迫りくるフライトの瞬間に胸が高鳴りました。



いよいよ搭乗案内の時間となりました。「じゃあ、行ってくるね」「気を付けて」……。妻は笑顔で私に手を振ると、搭乗口の方へと早足で歩き出しました。私は、その後ろ姿が見えなくなるまで、手を振り続けるのでした……。そうです。私が飛行機に乗る夢は叶うことはなかったのです。なぜなら、出張で札幌へ出かける妻を見送りに来ただけですから。たった一人の帰りの車の中で、「今度こそ、私の番だ!」と強く心に誓うのでした。



左の写真は7月28日の午後、校長室から撮影したものです。突然、物凄い雨が降り出して、竜北中が誇るメイングラウンドは、あっという間に水浸しになってしまいました。昔は「夕立」が来ると、涼しくなるので嬉しかった記憶もありますが、今は蒸し暑いだけです。一瞬でこれ程の大雨が降るのも困りますね。40℃を超える酷暑、災害級の豪雨、震度7の大地震……。知立市にも、いつ災害が降りかかるか分かりません。学校でも避難訓練やHUG(ひなんじょうんえいゲーム)体験など防災を学ぶ機会がありますが、家庭でも約束事を確認しておいてください。私は防災袋の中身を点検したところ、ペットボトルの水の消費期限が切れていました。自分の命も、他人の命も守れる頼れる竜北生でいてくださいね。

夏休みは早くも折り返しとなります。お盆休みも後半戦も元気に、「竜北生、Go!!」

学年だより等でもお知らせしたとおり、10日から13日までは「知立市学校閉庁日」となります。日直を置きませんので、緊急の連絡は市役所・学校教育課へお伝え願います。

(令和8年8月6日)